

平成30年度 学長戦略経費（公募型プロジェクト）研究成果概要報告書

経費の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 共同研究推進 <input type="checkbox"/> 若手教員研究支援 <input type="checkbox"/> 個人研究支援 <input type="checkbox"/> 研究推進重点設備 <input type="checkbox"/> 研究推進設備修繕																																																
プロジェクトの名称	小学校特別支援学級に在籍する児童の交流及び共同学習の実施における自己決定の現状																																																
報告者氏名・所属・職名	細谷一博・函館校・准教授																																																
プロジェクト担当者氏名・所属・職名	小松一保・教職大学院・特任教授 小田将之・教職大学院・特任教授 郡川孝行・附属特別支援学校・教諭(特別支援教育コーディネーター)																																																
研究内容及び成果の概要																																																	
<p>知的障害児の交流及び共同学習に関する研究では、交流及び共同学習の実施状況や実施における児童生徒の変容、教師間の連携などの実践研究が多く報告されている。さらに、これまでの交流学习に対する支援は、通常学級でどのように支援するか、教師間がどのように連携をとって支援にあたるか等に焦点が当てられてきており、通常学級で学習することを目的に、意欲的に取り組むための支援に着目した研究は十分とは言えない。そこで本研究では、北海道内の小学校特別支援学級の教師を対象に交流及び共同学習の現状と課題を実施状況と実施に至る経緯、子どもの意見の反映方法について明らかにすることを目的とする。</p> <p>その結果、北海道内を4つのエリアに分類し集計したところ、交流及び共同学習の実施はいずれのエリアにおいても8割を超える高い実施率を示しており(図1参照)、課題も「特別支援学級担任の付き添い」「通常学級児童の理解」が高い結果を示していた。また担任が考えている目標と成果では、交流の側面に焦点が当てられており、共同学習の側面は低い結果であった。さらに教科交流においては、芸能教科で高い実施率を示していたが(図2参照)、教師主導で内容を決めている場合が多かった。しかし決定方法に関係なく多くの児童が喜んで参加している事が明らかとなった反面、喜んで参加していない児童の存在も明らかとなり、今後は意欲的に学習に参加できる実施方法や支援を検討する必要がある。</p>																																																	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <table border="1"> <caption>図1 交流形態別の実施率 (%)</caption> <thead> <tr> <th>交流形態</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常交流</td> <td>88.2</td> <td>92.0</td> <td>98.2</td> <td>81.0</td> </tr> <tr> <td>行事交流</td> <td>100</td> <td>99.1</td> <td>98.2</td> <td>97.6</td> </tr> <tr> <td>教科交流</td> <td>94.1</td> <td>91.2</td> <td>98.2</td> <td>95.2</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <table border="1"> <caption>図2 教科交流の具体的内容 (%)</caption> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>実施率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>国語</td><td>12.6</td></tr> <tr><td>算数</td><td>13.0</td></tr> <tr><td>理科</td><td>54.8</td></tr> <tr><td>社会</td><td>48.7</td></tr> <tr><td>生活</td><td>43.9</td></tr> <tr><td>音楽</td><td>83.0</td></tr> <tr><td>図工</td><td>73.0</td></tr> <tr><td>家庭</td><td>47.8</td></tr> <tr><td>体育</td><td>87.0</td></tr> <tr><td>道徳</td><td>46.1</td></tr> <tr><td>特活</td><td>66.5</td></tr> <tr><td>外国語</td><td>74.8</td></tr> <tr><td>総合</td><td>75.7</td></tr> </tbody> </table> </div> </div>		交流形態	A	B	C	D	日常交流	88.2	92.0	98.2	81.0	行事交流	100	99.1	98.2	97.6	教科交流	94.1	91.2	98.2	95.2	教科	実施率 (%)	国語	12.6	算数	13.0	理科	54.8	社会	48.7	生活	43.9	音楽	83.0	図工	73.0	家庭	47.8	体育	87.0	道徳	46.1	特活	66.5	外国語	74.8	総合	75.7
交流形態	A	B	C	D																																													
日常交流	88.2	92.0	98.2	81.0																																													
行事交流	100	99.1	98.2	97.6																																													
教科交流	94.1	91.2	98.2	95.2																																													
教科	実施率 (%)																																																
国語	12.6																																																
算数	13.0																																																
理科	54.8																																																
社会	48.7																																																
生活	43.9																																																
音楽	83.0																																																
図工	73.0																																																
家庭	47.8																																																
体育	87.0																																																
道徳	46.1																																																
特活	66.5																																																
外国語	74.8																																																
総合	75.7																																																
成果の公表の状況																																																	
【学術論文】現在、学会誌へ投稿中																																																	
教育現場で活用可能な分野・教材等																																																	
特別支援教育に関する研修会や現職教員を対象とした研修会などで本研究の結果が利用可能である。																																																	
配布又はダウンロード可能な資料																																																	
問合わせ先	代表者：細谷一博 電話：0138-44-4279 FAX：0138-44-4279 mail：hosoya.kazuhiro@h.hokkyodai.ac.jp																																																